

歩こうかい 2 月例会(通算 380 回)

三英傑ゆかりの地を訪ねる⑧



長久手合戦史跡めぐり

2023 年 2 月 8 日(水)

天気:晴 ・参加者 12 名 <11,000 歩>

リニモ長久手古戦場駅・・・郷土資料室・・・①勝入塚・・・②庄久郎塚・・・③武蔵塚・・・⑫鎧掛けの松・・・⑬血の池公園・・・

⑦長久手城趾・・・④御旗山・・・⑪教圓寺・・・⑥首塚・・・⑩安昌寺・・・⑤色金山歴史公園・・・いしつくり 石作神社・・・やざこ 岩作城址・・・リニモテラス

NHK の大河ドラマ「どうする家康」が始まり、地元では様々なイベントが行われている。本能寺の変で討たれた信長の後継者を決める清州会議の後も権力者達の争いは続き、秀吉と家康が直接戦った小牧・長久手の戦いは、その後日本中へ大きな影響を及ぼした。戦いの舞台となった長久手の地域一帯は大規模宅地開発で当時の面影はないが、重要な役割を果たした武将の塚や史跡が数多く残されている。

初めに長久手市郷土資料室に立ち寄り、合戦を解説するジオラマで戦いの全容を学ぶ。公園として整備された敷地内には秀吉方の池田恒興(勝入)と長男の池田元助(幼名庄九郎)の戦死地をしるす塚がある。



長久手合戦史跡めぐりルート(太線)



合戦ジオラマ



勝入塚

森長可<sup>ながよし</sup>(秀吉方)戦死地の武蔵塚、合戦後に武将達が松に鎧をかけ血のついた槍や刀を洗った池があった血の池公園、長久手城趾を経て、家康が頂上に金扇の馬標を立てた御旗山に上がる。



武蔵塚



鞍掛けの松

しばらく東に歩いて旧道に入り、家康が色金山から御旗山に移るとき戦勝祈願をした教圓寺、戦死者を葬った跡の首塚、多くの戦死者を供養した安昌寺を経て色金山へ。展望テラスから市内を眺めながら昼食を楽しむ。



首塚



昼食風景

色金山山頂には家康軍が軍議を開いたと伝えられる床机石が残されている。



床机石をバックに集合写真

尾張の古社・石作神社に参拝し、駅前リニモテラスまで戻って喫茶店で歓談後、13時30分頃解散する。

記: 奥村正忠

2023年2月21日(火)

中日新聞朝刊記事

## 小牧・長久手の戦い 長久手小6年に授業 市郷土史研究会

長久手市郷土史研究会は二十日、長久手小学校の六年生約百人に向け、徳川家康と羽柴秀吉が激突した「小牧・長久手の戦い」(一五八四年)をテーマに授業をした。卒業を前に、郷土について理解を深めてもらうのが狙い。NHK大河ドラマ「どうする家康」が話題となる中、子どもたちは身近な地名が登場

スライドを見せながら戦いについて詳しく説明した授業。長久手市岩作中縄手の長久手小で



する内容に興味津々だった。

市郷土史研究会は昨年十二月、戦いの際に家康、秀吉が重臣らと交わした書状などをまとめた解説書「書簡に見る小牧・長久手の戦い」を出版。メンバーが学校で授業するのは初めて

で、社会の授業で教わる内容よりも詳しく伝えることを目指した。

授業では、現在の市内を含め、周辺では当時四つの戦いが起きたこと、両軍合わせて三千人以上の戦死者が出たことなどを説明。合戦の死者をどちらの軍かに関係なく吊ったとされる安昌寺(長久手市岩作色金)といったゆかりの史跡を取り上げながら、それぞれの軍のルートや勝負を決めた出来事などについても解説した。

和田音瀬さん(こは「身近な場所で戦いがあったことを実感した。人間関係も分かって面白かった」と満足そう。同会の小島駿(しん)さん(こは「地元の戦いなので関心を持って聞いてくれた」と喜んでいた。